

かわたび
ぽっかいどう令和5年8月28日
旭川開発建設部

「旭川駅周辺かわまちづくり計画」登録証の伝達式を行います

～地域の活性化につながる賑わいある河川空間を創出します～

旭川市が策定した「旭川駅周辺かわまちづくり計画」（石狩川水系忠別川・牛朱別川）が、国土交通省のかわまちづくり支援制度に8月10日登録されましたので、かわまちづくり計画登録証の伝達式を下記のとおり行います。

なお、かわまちづくり計画登録証は、旭川開発建設部長から旭川市長へ伝達される予定です。

国土交通省では、水辺を活かして地域の賑わい創出を目指す取組「かわまちづくり」を推進しています。「かわまちづくり」とは、地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、地域活性化や観光振興などを目的に、市町村や民間事業者、地域住民等と河川管理者が各々の取組を連携することにより、「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間を形成し、河川空間を活かして地域の賑わい創出を目指す取組です。

記

- 「旭川駅周辺かわまちづくり計画」登録証の伝達式次第
日時 令和5年9月4日（月）13時30分～14時00分
会場 旭川市役所 総合庁舎 2階 秘書課第1応接室
北海道旭川市6条通9丁目（TEL0166-25-5316）
出席者 旭川市長、北海道開発局旭川開発建設部長ほか
- 添付資料
別紙1 北海道における「かわまちづくり計画」の登録箇所
別紙2 「旭川駅周辺かわまちづくり」計画の概要

全国の取組は以下の国土交通省ホームページでご確認いただけます。

かわまちづくりHP：<https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyo/machizukuri/>

※取材を希望される報道関係者の方は、開催時刻の10分前までにお越し願います。



「かわまちづくり支援制度」の概要は、以下の北海道開発局ホームページに掲載しています。
https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/kawa_kei/ud49g7000000ahtj.html

かわたび
ぽっかいどう

川へ行こう！川を楽しもう！川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等、川に関する情報を効果的に発信するとともに、地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびぽっかいどう」を推進します。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部

流域治水対策官 結城 憲明 (0166-32-4237)

流域治水対策専門官 佐々木 政幸 (0166-32-4361)

旭川開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/as/>

旭川市地域振興部



地域振興課 課長補佐 箕浦 剛 (0166-25-5316)

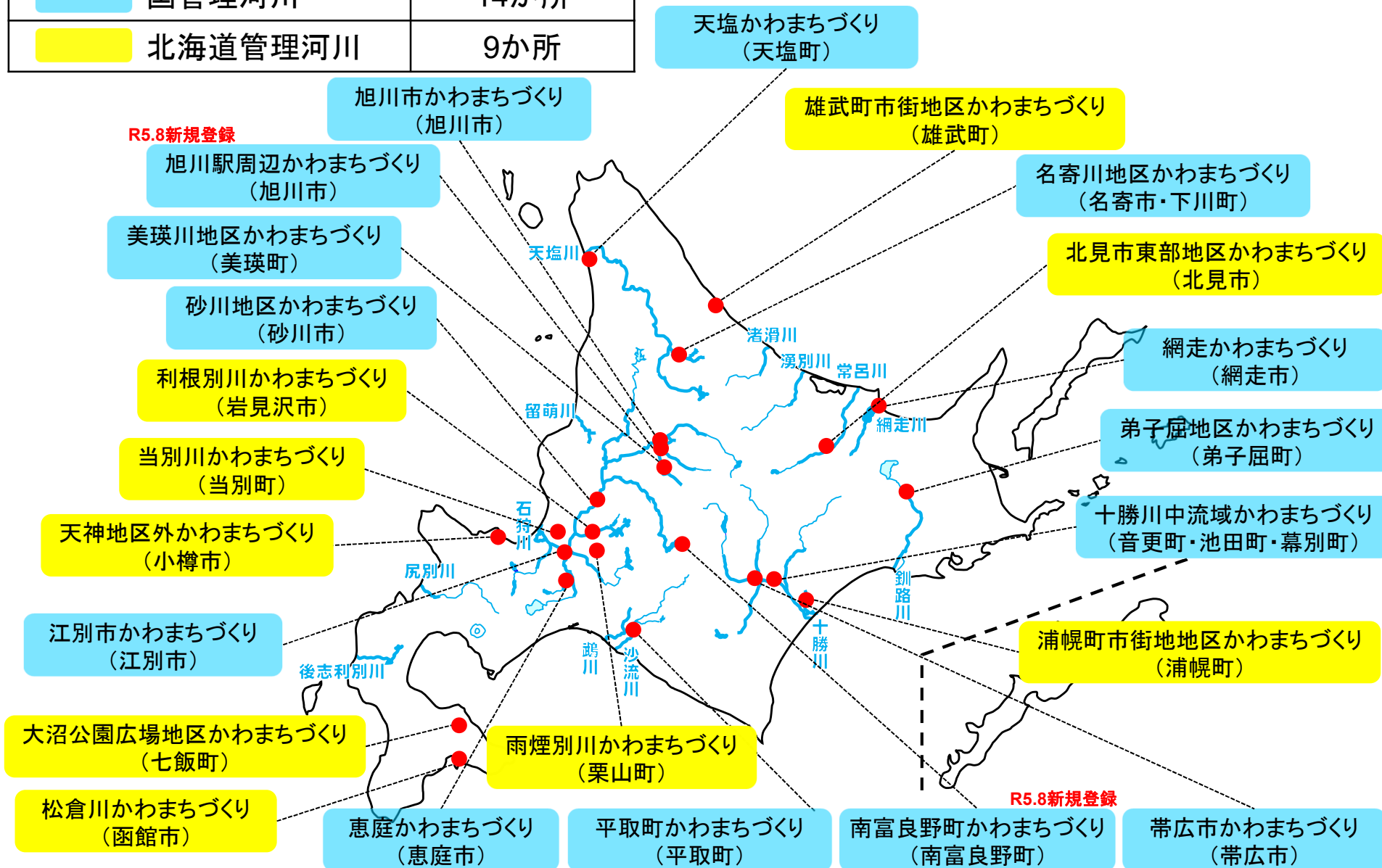
旭川市ホームページ <https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/700/735/747/749/d078025.html>



北海道における「かわまちづくり計画」の登録箇所

【別紙1】

	R5.8.10時点
 国管理河川	14か所
 北海道管理河川	9か所



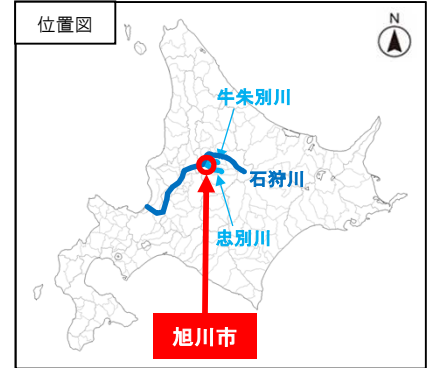
「旭川駅周辺かわまちづくり」(北海道旭川市)

【別紙2】

対象河川：一級河川 石狩川水系忠別川・牛朱別川【国管理河川】

市町村名：北海道旭川市

推進主体：旭川市



1. 概要

旭川市では「第8次旭川市総合計画」に基づき、食と農等の様々な地域の資源や特性を活かし、地場産業の振興やブランド力の向上等、地域経済の活性化を図っています。市民がスポーツに取り組み、競技力の向上や健康増進・心身のリフレッシュを図ることができるようスポーツに親しめる環境づくりを進めています。

この取組を充実させるため、本計画では、地域観光のゲートウェイであるJR旭川駅南側地区と忠別川・牛朱別川が一体となった水辺整備を行い、観光・まちづくりによる賑わいの創出により、旭川市街地の地域活性化を図ります。

国土交通省では、この取組に対し、必要な河川管理施設の整備のほか、河川空間において営利活動を実施する場合には、河川敷地占用許可準則22条に基づく、都市・地域再生等利用区域の指定等の支援を実施していきます。

2. ハード施策の内容

- 国土交通省：〔忠別川〕 親水広場、取付道路〔牛朱別川〕 側帯
- 旭川市：〔忠別川〕 橋梁標示、周遊コース案内看板、〔牛朱別川〕 路面標示

3. ソフト施策の内容

- 国土交通省：都市・地域再生等利用区域の指定 等
- 旭川市：水辺を周遊する広域的なサイクリング・フットパスコースの設定、水辺空間での新たなイベント・アウトドア利用の企画、冬のアクティビティプランの設定、水辺空間を活用した環境教育の推進 等



※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。